

リウマチ・膠原病センター

■ スタッフ

センター長		中島 亜矢子
医師	常勤	4名
	併任	0名
	非常勤	0名

■ 特色・診療対象疾患

当センターは、リウマチ膠原病性疾患を専門に診療する部門として、2017年9月に開設され、10月から外来診療、11月より入院診療を開始しました。

対象疾患は、そのほとんどが慢性炎症性疾患で、呼吸器・腎臓・皮膚などの多臓器に病変をきたすことに加え、関節をはじめとする筋骨格系の障害もきたし多彩な病態をとる自己免疫疾患であることが特徴です。近年、多くの生物学的製剤や免疫抑制薬がリウマチ膠原病性疾患にも導入され、より良い治療成果が得られるようになり、患者さんの生活の質や長期予後の改善が得られてきています。

1. 当センターの特色

- 多彩な臓器障害をきたすリウマチ膠原病性疾患を専門的かつ総合的に診断治療を行っています。
- リウマチ専門医（内科系指導医）を有するリウマチ教育病院（県内2施設）です。
- 国際標準に基づき患者さんの立場に立った丁寧な診療を行っています。
- 多診療科、メディカルスタッフとの連携を重視しています。
- 病態安定後も長期に維持療法が必要なため、地域医療連携も重視しています。

2. 主な診療対象疾患

- 関節リウマチ
 - 全身性エリテマトーデス
 - 強皮症
 - 多発筋炎/皮膚筋炎
 - 高安動脈炎/巨細胞性動脈炎
 - ANCA関連血管炎
 - ベーチェット病
- など

■ 活動実績

当センターは、大学病院に開設された新しい診療科です。まずは診療、学生・研修医教育に力を入れています。すべての教室員が新しく設立されたセンターをより大きく確実に作り上げるように活動しています。また、リウマチ膠原病性疾患は、それ自体が専門領域であるため、一人一人の教室員がすべてのリウマチ膠原病性疾患を診療できるよう、日々研鑽しています。

1. 治療実績

- 2017年10月より外来診療開始。11月より病棟診療開始
- 2017年4月まで新患者数 150例
- 関節リウマチ 約30%
- 全身性エリテマトーデス等 約40%

2. 教育活動の実績

- 卒前教育：医学部生への病棟実習
- 卒後教育：研修医への臨床指導、学会発表指導
- 卒前・卒後教育：第1回三重大学リウマチ・膠原病セミナー開催(2018.1.13)

3. 臨床研究等の実績(2017年度)

- なし

■ 今後の展望

三重県は、リウマチ専門医（内科系）が非常に少なく、特に入院診療可能な総合病院で診療にあたっているのは当センターを含め2名にすぎないという状況です。三重大学医学部附属病院の当センターで内科系リウマチ膠原病性疾患を診療できるリウマチ専門医の育成を第一の目標に掲げ、教育、診療、研究に努めたいと考えております。5年以内には県内の総合病院に常勤でリウマチ専門医を派遣しリウマチ膠原病内科診療にあたり、県内のリウマチ膠原病に悩まれる患者さん、先生方のお役に立てることを目指しております。

<https://www.hosp.mie-u.ac.jp/section/riumachi/>